

平成27年度事業報告

社会福祉法人
長野県視覚障害者福祉協会

平成27年度に実施した行事については、視障協だよりで報告してきたとおりであります。福祉大会や音楽祭など会員参加の行事については年々参加者が減少し、中でもスポーツ大会においては参加者不足の為、実施に至りませんでした。これも会員の高齢化が原因の一つと思われます。しかし、このところ続いていた会員減少の流れは、平成27年度については幾分鈍ったものの、会員の高齢化は進んでおり、減少の流れはいずれ再現する物と思われます。このことについては今後検討を重ねていく必要があります。

さて、各事業についてですが、ガイドヘルプ事業所しらかばや、松本北部障害者デイサービス・盲人ホーム・収益事業・ふれっ手については下記に報告をすとおりであります。「デイサービス」、「収益事業」、「ふれっ手」については、ほぼ順調に運営をされているものの、「しらかば」については利用量が落ち込んでおり、「盲人ホーム」についても施術を受けに来られる方が目に見えて減少しています。会員減少の課題と併せて今後検討していく必要があります。

以上いくつかの課題は残ったものの、無事に平成27年度を締めくくることが出来ましたのも、ひとえに会員の皆様方のご理解・ご協力、役員諸氏の熱意、そして職員一人一人の働きによるものと、大変有難く心から感謝申し上げます。

1. 日本盲人会連合への協力

日盲連加盟団体として、日盲連の活動が一層安定し、あわせて視覚障害者福祉向上のため、本会も積極的に協力しています。

(1) 第68回全国盲人福祉大会(岐阜大会)に参加

日盲連に加盟している全国都道府県、政令指定都市などの代表が一堂に会し、視覚障害者に対する理解と要求、啓発を目的として全国持ち回りで開催しております。

期 日：5月29日(金)～31日(日)

会 場：岐阜県 長良川国際会議場

参加者：約2,000名

本会からは理事長ほか3名が出席しました。

(2) 第61回全国盲女性研修大会(宮城大会)に参加

日盲連に加盟している女性協議会の代表が一堂に会し、盲女性をとりまく諸問題について、討議学習し情報を交換し合うことを目的として、全国持ち回りで開催しております。

期 日：9月1日(火)～3日(木)

会 場：宮城県 ホテル松島大観荘

参加者：約400名

本会からは女性部長ほか19名が出席しました。

2. 北信越ブロック会議へ出席

北信越ブロックでは、毎年各県持ち回りでこの会議を実施しております。

本年度は福井県が主催、代表者会議、青年部と女性部の各協議会が行われ、各県より多数の視覚障害者が参加し、活発に討議しました。

期 日：11月28日(土)～29日(日)

会 場：ホテルせくみ屋

3. 第68回長野県視覚障害者福祉大会の開催

会員の団結力強化、行政、一般社会に対する啓発を目的として、6月28日(日)、29日(月)の2日間、大町市の「緑水亭景水」を主会場に盛大に開催されました。参加者は、県知事(代理)はじめ、大町市 牛越 徹市長、地元選出国・県・市議会議員、顧問ほか福祉団体の代表、ボランティア多数、会員80余名でした。

スローガンは4項目、決議は10項目で、いずれも身近なものばかりでした。

4. 各種会議の開催

協会の行事及び事業を円滑にするため、次の会議を開催しました。

理事会 4回、総務会 5回、評議員会 2回

その他、各部では必要に応じて会を開き、理事会や協会運営に反映させました。

5. 第36回音楽祭の開催

音楽を通じてその楽しさ、喜びを味わい、音楽文化の高揚をはかりました。

期 日：10月25日(日)

参加者：51名

6. 第42回北信越グランドソフトボール大会の開催

期 日：5月16日(土)～17日(日)

会 場：福井県 松岡総合運動公園

参加チーム：福井県・新潟県・富山県・石川県・長野県

成 績：優勝 長野県

7. 第24回北信越サウンドテーブルテニス大会へ参加

期 日：10月31日(土)～11月1日(日)

会 場：新潟県 月岡ニューホテル冠月

参加チーム：石川県・富山県・福井県・新潟県・長野県

成 績 (団体戦)：優勝 石川県A

(個人戦)： " 男子 富山県

" : " 女子 長野県

8. 女性部

(1) 第56回女性部総会

期 日：5月10日(日)

会 場：県視覚障害者福祉センター

(2) 秋の研修会

期 日：9月27日(日)

会 場：県視覚障害者福祉センター

テーマ：「介護保険法並びに総合支援法におけるサービスの内容について」

講 師：日本盲人会連合会長 竹下 義樹氏

9. 鍼・灸・マッサージによる奉仕活動の推進

「受ける福祉だけでなく、与える福祉も」を合い言葉に、社会への還元を目的とするこの事業は、各地域の老人ホーム等に鍼・灸・マッサージの奉仕を各支部ごとに、年2回を目標に実施する事業です。

本年度は、8支部で行われました。

10. 点字講習会の開催

各支部が、独自の計画で地域に適した講習会を行う事業です。

対象者は、晴眼者・中途視覚障害者、点字をより一層修得したい方。

本年度は、4支部で開催しました。

11. 会員及び県内視覚障害者に県内外の情報を提供

視覚障害者は、錯綜している情報化時代の中でも情報受信が少ないため、行政をはじめ関係機関から点字、録音等で情報を受け、また、本会の機関誌を通じて、会員の消息・情報提供・啓発につとめています。

(1) 点字・音声即時情報ネットワーク事業による「JBニュース」を提供

日盲連をキーステーションとして、日々送られてくる情報を県視覚障害者福祉センターで受信し、週に一度集約した情報を各支部長及び役員、一般会員の希望者に送付しています。

(2) 声の厚生(録音)を隔月各支部に提供

(3) 愛盲時報を、墨字使用者及び関係機関に提供

(4) 長野県広報点字版を年5回提供

- (5) 長野県議会報点字版を年4回提供
- (6) 長野県身体障害者福祉協会「こころの友」点字版提供
- (7) 「視障協だより」を会員に提供(年4回)
- (8) 会員文集「信濃の泉」の刊行を原稿投稿者、年賀申込者に提供
- (9) 各支部及び県内諸団体からの依頼による点字版通信を、必要に応じて会員に提供
- (10) 各市町村の広報を点訳し地域会員に提供

12. 視覚障害者のクラブを積極的に推進援助

全県対象のサウンドテーブルテニスクラブ、フロアバレーボールクラブ、松本市を中心にした俳句クラブ「雪形会」、上田市を中心にした「いちい川柳会」に、その発展のため積極的に援助、協力しています。

13. 長野・松本両盲学校卒業生への対応

- (1) 本会の内容及び加入説明会
 - 長野盲学校 3月
 - 松本盲学校 3月
- (2) 卒業記念品の贈呈
 - 長野盲学校 6名
 - 松本盲学校 6名

14. 盲老人ホーム「光の園」への協力

下伊那郡下条村にある「光の園」は、県内唯一の盲老人ホームです。例年通り双方の事業を通じて、緊密な連携を保ちながら、疎通を図っております。

15. 各団体との協調

関係諸団体と連携をはかりながら、本会の啓発に役立つ活動をしています。

- (1) 長野県・関係行政機関
- (2) 長野県障害者福祉センター「サンアップル」
- (3) 長野県社会福祉協議会
- (4) 長野県身体障害者福祉協会
- (5) 長野県障がい者スポーツ協会
- (6) 長野県はり灸マッサージ師会
- (7) 上田点字図書館
- (8) その他関係団体

16. 県よりの受託事業の実施

- (1) 視覚障害者総合支援事業
- (2) 点訳・朗読奉仕員養成事業

17. 賛助会員制度

県内各企業に本年も賛助会員としての参加をお願いしてまいりました。
不況の影響で、本年度も減収となりました。
又、会員の皆様にも賛助会員としてご協力いただきました。

18. 収益事業の実施

- (1) 点字印刷事業：例年どおり
- (2) 盲人用具販売事業：例年どおり
- (3) 援護事業

書き損じハガキを集め換金する事業で、対象は県下の幼・保・小・中・高校
にお願いしております。

平成26年度まで、真愛センターに当協会の名義で回収業務を委託しておりま
したが、平成27年度より信愛センター平井氏が引退の為、協会独自に回収を始
めました。

業績については、独自回収初年度の為、比較対象が無いものの、多くの学校
様より多大なご協力を得られました。

19. 公益事業の実施

長野県盲人ホームの運営

本年は、指導員3名、利用者8名で運営され、年間受診者数は200人でした。

20. 松本北部障害者デイサービスセンターの運営

障害者総合支援法、松本市からの補助金で実施しているものです。

- (1) 日常生活訓練事業(生活教室など)
- (2) 社会適応訓練事業(料理、生花など)
- (3) 創作・軽作業事業(陶芸、エコクラフト、革細工、ビーズ教室など)
- (4) その他(うた、俳句、ストレッチ&リンパ、ヨガ、オカリナなど)

21. ガイドヘルプ事業所しらかばの運営

県下市町村12市5町と契約し、地域生活支援事業による移動支援事業と障害者福祉サ
ービスによる同行援護事業を運営しています。

地域格差がますます広がっています。各公共機関への働きかけをしていきたいと思
います。

22. 就労継続支援B型事業所ふれっ手の運営

職員11名、利用者約20名心をひとつにし、運営しています。

(1) 行事：ふれっ手まつり、研修旅行(日帰り)等を実施。

(2) 一般作業：自主製品の製作販売、ぞうりっぱ、ふれっ手織り、いなり寿司の製造販売等に力を注ぎ、高校・病院などに販路を広げております。委託品の販売、販路の拡大。

施設外就労として、いなり寿司の販売、県合同庁舎の床清掃、草取り等、リンゴの摘花作業、収穫、野菜作り等。

(3) 情報作業：名刺作成印刷等幅広い受注販売に勤めた。

(4) 三療作業：指導員のもと技術向上と就労支援、患者さんの確保に努めた。

(5) クラブ活動：希望者。